

プロジェクトマネージャ 解答例

【午 後 I】

問 1 (配点:50 点)

設問 1 (7 点)

プロジェクトの目的を踏まえて、部門要求に優先順位を付けること

設問 2 (17 点:(1)7 点, (2)リスク 5 点, 対策 5 点)

- (1) 各記入シートの記入に手間が掛かり、記入しづらい点への社員からの改善要望
- (2) (リスク) 部門からの問合せ対応に時間がかかる。
(対策) 人材関連情報の項目と記入方法を整理する。

設問 3 (15 点:(1)8 点, (2)7 点)

- (1) 類似案件の経験者や、必要な公的資格保有者の情報を迅速に入手したいという要求
- (2) 両部門の業務上の問題点を解決でき、現状より増す負荷もないから

設問 4 (11 点:(1)7 点, (2)4 点)

- (1) 利用者である社員に早期に確認してもらい使い勝手をよくする。
- (2) 社員の人材情報が漏えいする。

問 2 (配点 50 点)

設問 1 (7 点)

従来の方法に固執し、P 社の標準プロセスに反発する。

設問 2 (15 点:(1)7 点, (2)8 点)

- (1) 子アクティビティの所要日数を計画工数に変更する。
- (2) アクティビティで作成する成果物の難易度や重要度が均一なこと

設問 3 (18 点:下線②9 点, 下線③9 点)

- (下線②) G 主任の担当がクリティカルパスの 7 割もあるため、彼の遅延でプロジェクトが遅延する。
- (下線③) G 主任がレビューの 7 割を行うため、作業遅れでレビューが不十分になり品質が低下する。

設問 4 (10 点)

設計書と Q&A 表を見比べての作業は、手間が掛かるうえ見落としで不具合も生じやすい。

問 3 (配点 50 点)

設問 1 (14 点:ギャップ 7 点 リスク 7 点)

- (ギャップ) 契約窓口は仕様が明確というが、現システムは改修履歴も無く仕様が不明確であること
- (リスク) 仕様調査で洗い出せなかった仕様によって、開発工数が予定を上回りコスト超過になる。

設問 2 (7 点)

- a: 仕様調査に基づいて作成・合意した外部設計書の業務機能で作成すること

設問 3 (12 点:(1)6 点, (2)6 点)

- (1) 適正な価格で質の高い業者を選定できる。
- (2) 実績があり, 適切な品質管理を実施できる。

設問 4 (17 点:(1)7 点, (2)リスク 5 点, 対応策 5 点)

- (1) 外部設計に基づいた新システムは, 現行のシステムと正確に同じ機能とは限らないから
- (2) (リスク) 現システムの漏れていた仕様がみつかる。
(対応策) 並行運用で処理結果の差異を毎日確認する。

以上